



Press Information

VPR15-054

2015年6月15日(月)

フォルクスワーゲン グループ ジャパン 株式会社

フォルクスワーゲン 世界ラリー選手権(WRC)で今季5勝目

第6戦「ラリー・イタリア」でオジェ選手が逆転優勝



フォルクスワーゲンは、ラリー競技の最高峰「FIA 世界ラリー選手権(通称:WRC)」の 2015 年シーズン第6戦「ラリー・イタリア」に市販車をベースとした3台の「ポロ R WRC」で参戦、フランス人のセバスチャン オジェ選手が今季4度目となる優勝を果たしました。

2015年6月11日(木)～6月14日(日)にかけて開催された「ラリー・イタリア」は、地中海に浮かぶサルディニア島を舞台としたグラベル(未舗装路)ラリーです。拠点となるのは北西部の街、アルゲーロ。競技区間(スペシャルステージ、通称:SS)は23、SS距離394.63km、総走行距離1548.65kmで行われました。「ラリー・イタリア」は2004年以来本土ではなくサルディニア島での開催が継続されており、浮き砂利の乗ったラフな路面が特徴です。

11日(木)の夜、ラリーは島の南部に位置する港町カリアリからスタートしました。2台同時走行の特設コースが設けられ、フォルクスワーゲンチームは2番手にアンドレアス ミケルセン選手、6番手にオジェ選手、7番手にヤリ-マティ ラトバラ選手という順でこの日を終わりました。続く12日(金)からは本格的なグラベルでのSSが始まりますが、乾いた路面には細かな砂が積もり、先頭走者のオジェ選手は砂利掻き役を強いられタイムを伸ばせません。しかし砂利が掃けた午後SSでタイム差を縮め、オジェ選手は総合2番手、ラトバラ選手は総合3番手で12日(金)の競技を終わりました。また、ミケルセン選手はSS5でサスペンションを破損してしまい、この日の走行を断念しています。

続く13日(土)は明暗の分かれる1日となりました。オジェ選手は粘り強く好タイムを重ね、ライバルのミスもありこの日の午後には総合首位へと浮上しました。一方、ラトバラ選手は2度のトラブルに見舞われて6番手に後退、ミケルセン選手もコースアウトを喫し再び戦線を離脱しました。最終日の14日(日)、大量のリードを築いたオジェ選手は今季4度目の勝利を獲得、WRC通算勝利数を28としました。ラトバラ選手は6位、ミケルセン選手も36位で完走を果たしています。また、ボーナスポイントが設定された最終SSの「パワーステージ」ではオジェ選手、ラトバラ選手、ミケルセン選手の順でトップ3を独占する強さを発揮し、それぞれボーナスポイントを加算しました。

フォルクスワーゲンチームは全23SSのうち14SSでトップタイムを記録し、「ポロ R WRC」の速さを示しました。第6戦を終えて、マニユファクチャラーズ選手権、ドライバーズ選手権ランキングとも差を広げて首位を維持しています。次戦は7月2日(木)～5日(日)の第7戦「ラリー・ポーランド」です。

■フォルクスワーゲン モータースポーツ ディレクター: ヨースト カピート

「最後は勝利という良い結果を得ることができましたが、とにかく様々なことが起きた週末でした。今回の勝利は、それぞれの選手権を戦っていくうえで非常に大きなステップとなるでしょう」

■カー#1: セバスチャン オジェ(フランス) 最終結果:総合 1位

「サルディニアでのこの勝利は、選手権争いにとって非常に重要です。今回は新しいステージも多く、精神的にも身体的にも非常に厳しいラリーでした。そこで勝利を得られたことを誇りに思います」

■カー#2: ヤリ-マティ ラトバラ(フィンランド) 最終結果:総合 6位

「この週末に起きたトラブルを考えれば、6位という結果とパワーステージでのポイント獲得は上出来かもしれません。速さは出せたので、ポーランドでさらに調子を上げていくことを楽しみにしています」

■カー#9: アンドレアス ミケルセン(ノルウェー) 最終結果:総合 36位

「最終日はパワーステージでポイントを獲得することに集中しました。それはうまくいきましたが、もちろんラリーの内容は残念に思っています。次のポーランドまでの2週間で気持ちを切り替えます」

■ FIA 世界ラリー選手権 第6戦ラリー・イタリア 最終結果

1.	セバスチャン オジェ/ジュリアン イングラシア(フォルクスワーゲン)	4時間 25分 54秒 3
2.	ヘイデン パットン/ジョン ケナード(ヒュンダイ)	+3分 5秒 4
3.	ティエリー ヌービル/ニコラ ジルソウル(ヒュンダイ)	+4分 22秒 5
6.	ヤリ-マティ ラトバラ/ミーカ アンティラ(フォルクスワーゲン)	+8分 6秒 7
36.	アンドレアス ミケルセン/オーラ フローネ(フォルクスワーゲン)	+1時間 36分 52秒 0

■ FIA 世界ラリー選手権 マニュファクチャラーズ選手権ランキング(第6戦終了時点)

1.	フォルクスワーゲン・モータースポーツ	179
2.	シトロエン・トタル・アブダビ・ワールドラリーチーム	115
3.	ヒュンダイ・モータースポーツ	113
4.	Mスポーツ	99
5.	ジポカー・チェコ・ナショナルチーム	34
6.	ヒュンダイ・モータースポーツ N	31
7.	フォルクスワーゲン・モータースポーツ II	31
8.	FWRT	3

■ FIA 世界ラリー選手権 ドライバーズ選手権ランキング(第6戦終了時点)

1.	セバスチャン オジェ(フォルクスワーゲン)	133
2.	マッズ オストベルグ(シトロエン)	67
3.	アンドレアス ミケルセン(フォルクスワーゲン)	64
4.	ヤリ-マティ ラトバラ(フォルクスワーゲン)	56
5.	エルフィン エバンス(Mスポーツ)	53
6.	ティエリー ヌービル(ヒュンダイ)	50